

1 学校関係者評価委員会の総評

- ・コロナ対応は大変だが、事態を冷静に受け止め、その都度改善していく姿勢が大切である。先生方の取り組みに感謝する。
- ・コロナ禍で通常の話し合い活動等、制限されたが、教師の工夫で子供達が意欲的に学習に参加する姿が見られた。
- ・学校と地域との連携がよくできている。コロナの関係で検温や消毒など保護者のボランティアが熱心に活動していた。教員の働き方改革にもつながっている。

2 分野別評価

分野	学校の取組に対する評価と今後の改善点
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年では学習の目標をしっかりもたせて、授業が進められていた。</li> <li>・高学年になるにつれてICTを効果的に活用した授業が進められている。</li> <li>・場面に応じてグループ活動を活用し、課題解決にあたっている。</li> <li>・不安がある中、子供一人でオンライン授業を受けることができた。オンライン授業での子供の様子を見たが、真剣に取り組んでいる。</li> <li>・体育のオンライン授業に楽しそうに取り組む様子が見られた。</li> <li>・教員のオンライン学習のスキルが向上した。低学年児童であってタブレットを上手に使いこなしている。 (今後の改善点)</li> <li>・オンライン授業で集中を継続することはなかなか難しい。</li> <li>・コロナ禍でオンライン学習が続き、子供同士の関わりや体力向上の場がなく不安が残った。個人差の広がりも懸念されるので対応が必要になる。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での運動会は低・中・高学年のブロックに分けて実施したが、先生方の工夫が見られた。校長先生の3ブロック全てにおける講評は、子どもの心に深く残っていると思う。</li> <li>・コロナ禍で、できることを考え工夫して実施されていた。</li> <li>・児童の心に寄り添い先生方が丁寧に教育相談をしている。そのことがいじめ防止につながり、児童や保護者との信頼関係構築につながっている。 (今後の改善点)</li> <li>・コロナ禍ですべての行事が中止、もしくは簡素化されてしまっているので、今後の元通りの活動ができるようになるのか不安である。知恵を出し合い、行事の持ち方を考えていきたい。</li> <li>・米づくりは、田植え・稲刈りとも天候の関係で高学年だけの参加になってしまった。PTAの協力も得られ収穫できたが、コロナ後は児童が参加できるようになると良い。</li> </ul>
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々の協力により登下校の見守りが充実している。児童が安全に登下校できている。学校教育に対して保護者や地域の方々の理解がある。できれば各地区でボランティアの方がふけるとよい。</li> <li>・コロナで限られた活動になってしまったが、地域と学校がうまく連携できた。</li> <li>・正門で校長先生・6年担任と6年児童が子供たちの登校を迎えて、元気にあいさつする姿は心温まる光景である。継続してほしい。</li> <li>・北浦地区では毎月の資源回収で子供会も参加し、熱心に活動している。 (今後の改善点)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症が終息したら、児童には納場コミュニティーの行事に参加してほしい。地域の交流を深めたい。</li> <li>・登校時に見守り隊の方が児童を見守ってくれている。児童も安心して歩いているが、危険はたくさんあるので自分で安全を確認する習慣を付けたい。</li> </ul>